

年度の事業報告書

28年1月1日から28年12月31日まで

法人名 特定非営利活動法人 マネジメントスクール

1 事業の成果

平成28年は、創業希望者に対し、ビジネスプランの作り方の支援活動を行いました。
参加者5人はビジネスプランを作ることができるようになりました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象 者の範囲 (E)人数	事業費の金額 (単位：千円)
雇用機会の 拡充支援 事業	創業希望者に対し、ビジネスプランの作り方を支援した。	(A)平成28年 7月23日 (B)当法人の 事務所会議室 (C)1人	(D)一般社 会人 (E)5人	0円

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	事業費の金額 (単位：千 円)
	実施しなかった		

(備考)

- 1 2は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。
- 2 2(2)には、定款上「その他の事業」に関する事項を定めているものの、当該事業年度にその他の事業を実施しなかった場合、「実施しなかった」と記載する。

28年度 特定非営利活動に係る事業 会計収支計算書
平成28年1月1日 から 平成28年12月31日まで

特定非営利活動法人マネジメントスクール

単位:円

科 目 ・ 摘 要	金 額		
(経常収支の部)			
I 経常収入の部			
1 入会金・会費収入			
入会金			
会費			
2 事業収入			
3 寄付金収入			
4 その他の事業会計からの繰り入れ			
経常収入合計(A)			
II 経常支出の部			
1 事業費			
2 管理費			
3 予備費			
経常支出合計(B)			
経常収支差額(C) = (A) - (B)			
前期繰越収支差額(D)			
次期繰越収支差額(C) + (D)			

注1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4でお願いします。

注2 の部分には、「特定非営利活動に係る事業」、又はその他の事業を行う場合にあっては「その他の事業」と記載し、事業毎に区分して別葉で作成してください。

注3 その他の事業を行う場合は、その他の事業会計収支計算書及び特定非営利活動に係る事業会計収支計算書について、その他の事業会計から特定非営利活動に係る事業会計への繰出繰入が明らかになるような科目を追加し、経理する必要があります。

28年度 特定非営利活動に係る事業 会計 貸借対照表

29年3月31日現在

特定非営利活動法人マネジメントスクール
(単位:円)

科 目 ・ 摘 要	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
流動資産合計			
2 固定資産			
固定資産合計			
資産合計			
II 負債の部			
1 流動負債			
流動負債合計			
2 固定負債			
固定負債合計			
負債合計			
III 正味財産の部			
正味財産合計			
負債及び正味財産合計			

注1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4でお願いします。

注2 の部分には、「特定非営利活動に係る事業」、又はその他の事業を行う場合にあっては「その他の事業」と記載し、事業毎に区分して別葉で作成してください。

28年度 特定非営利活動に係る事業 会計 財産目録

29年3月31日現在

特定非営利活動法人マネジメントスクール

(単位:円)

科 目 ・ 摘 要	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
未収入金			
流動資産合計			
2 固定資産			
固定資産合計			
資産合計			
II 負債の部			
1 流動負債			
流動負債合計			
2 固定負債			
固定負債合計			
負債合計			
正味財産			

注1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4でお願いします。

注2 の部分には、「特定非営利活動に係る事業」、又はその他の事業を行う場合にあっては「その他の事業」と記載し、事業毎に区分して別の用紙で作成してください。